

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	Amie Smile		
○保護者評価実施期間	2025年11月17日		～ 2025年 12月 22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 18名
○従業者評価実施期間	2025年11月 17日		～ 2025年 12月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月2 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数での集団活動、身辺自立、集団指示が意識できるよう声をかけ、お友だちとの関わりを大事にしています。お弁当持参でお友だちと一緒に食事をし、食事の自立を目指します。  毎日、個別での指先や運筆等個人の発達に合わせたトレーニングを行っています。工作もとても多く、指先を使った活動を多く取り入れてます。	集団に入ることが難しいお子様も小集団での活動の促し、個別に分かりやすい声かけを行い、集団生活ができるような促しを行っています。  課題に対し職員が創意工夫を行い、様々な角度からアプローチできるように心がけています。	2-3人のより小さい集団での活動を充実させ、お友だちへの興味、関心を促していきます。  職員が指導時に得た利用者の興味、特性、困り事を職員間で共有し、支援内容にフィードバックしていきます。
2	季節に合わせた活動や幅広い体験ができる。水遊び、運動会ごっこ、お散歩(公園遊び)等。 外部講師の先生が来られ専門的な活動(体育指導・音楽療育)も行っています。	様々な活動の経験が積めるよう促しています。	英語リトミックをR8年4月より新たに導入していく予定です。
3	職員全員が子育て経験者の為、指導者としてだけでなく、保護者の目線で保護者支援を行っています。	お迎え時には保護者様が保育室に入り、お帰りの様子を見たり、保育中の様子を聞いたり、気軽に相談出来る時間を設けています。	保護者様が安心して話ができるよう環境を整えていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言語性等専門的な支援ができるスタッフが不在である。	個別指導の中で言語性に関する支援教材、職員の経験が浅い人もいるので、経験を積んでいく必要がある。	言語性に関する支援課題を充実させていきます。 外部研修などで職員のスキルアップを図ります。
2	マンツーマン指導の時間を確保しにくい。	利用者が通所する時間帯が同じであるため、利用者の安全・衛生面を配慮すると指導に当たる職員数に限りがあります。 利用者が集中出来る時間帯が重なるため、長い時間の確保が難しい。	小集団での指導と個別指導を組み合わせ、マンツーマン指導の時間を確保していきます。
3	送迎がない。	利用者の特性の為、チャイルドシートに座れない、慣れない環境でパニックになるなど、職員が送迎することに安全面で不安があります。	登園、降園の時間を親子のコミュニケーションの時間としていただく為、今後も送迎は実施致しません。